

# し みず こん 清 水 崑

\*大正元年9月22日 長崎市銭座町生まれ

\*昭和49年3月27日 没 (61歳)

本名は清水幸雄、ペンネームの清水崑は中国、チベットの境辺にある崑崙山にちなみ、漫画家になる以前に友人が冗談半分につけた

## ○ 略歴

- 昭和5年 (17歳) 長崎市立商業学校(現在の長崎市立長崎商業高等学校)卒業  
翌年、親の反対を押し切って上京し、上野の街頭で似顔絵を描き生計を立てた
- 昭和8年 (21歳) 「新漫画派集団」に参加  
文芸春秋社の「オール読物」に挿絵を執筆
- 昭和10年 (23歳) 雑誌「新青年」に漫画「東京千一夜物語」を連載、のちに内田叶夢監督により映画化され、大ヒットする
- 終戦後 「新夕刊」の政治漫画を担当後、朝日新聞社囑託となり、吉田茂首相の風刺画で人気を博す サンフランシスコ講和会議には全権団の取材に派遣され、連日文章つきで漫画の見聞録を送る
- 昭和24年 (37歳) 火野葦平の小説「河童」の装丁と挿絵を担当する  
いわゆる「崑かっぱ」が始まる
- 昭和26年 (39歳) 「小学生朝日新聞」の創刊に際し、「かっぱ川太郎」を連載
- 昭和28年 (41歳) 週刊朝日に「かっぱ天国」を昭和33年まで連載  
大ブームとなり、かっぱキャバレー、かっぱ煎餅かっぱ饅頭などが登場
- 昭和30年 (43歳) カッパの絵が黄桜酒造社長の目に留まり、同社のキャラクターとして採用  
また、同年にはカルビーの「かっぱあられ」シリーズ(現在の「かっぱえびせん」はこの最後の商品)のデザインも担当
- 昭和31年 (44歳) 朝日新聞夕刊に、政治家や著名人と対談し、その似顔絵を描いた「一筆対面」  
「好きなもの」を連載

## ○ その他の代表作

「筆をかついで」(昭26)、漫画「かっぱ天国」(昭30)、「人物花壇」(昭33)